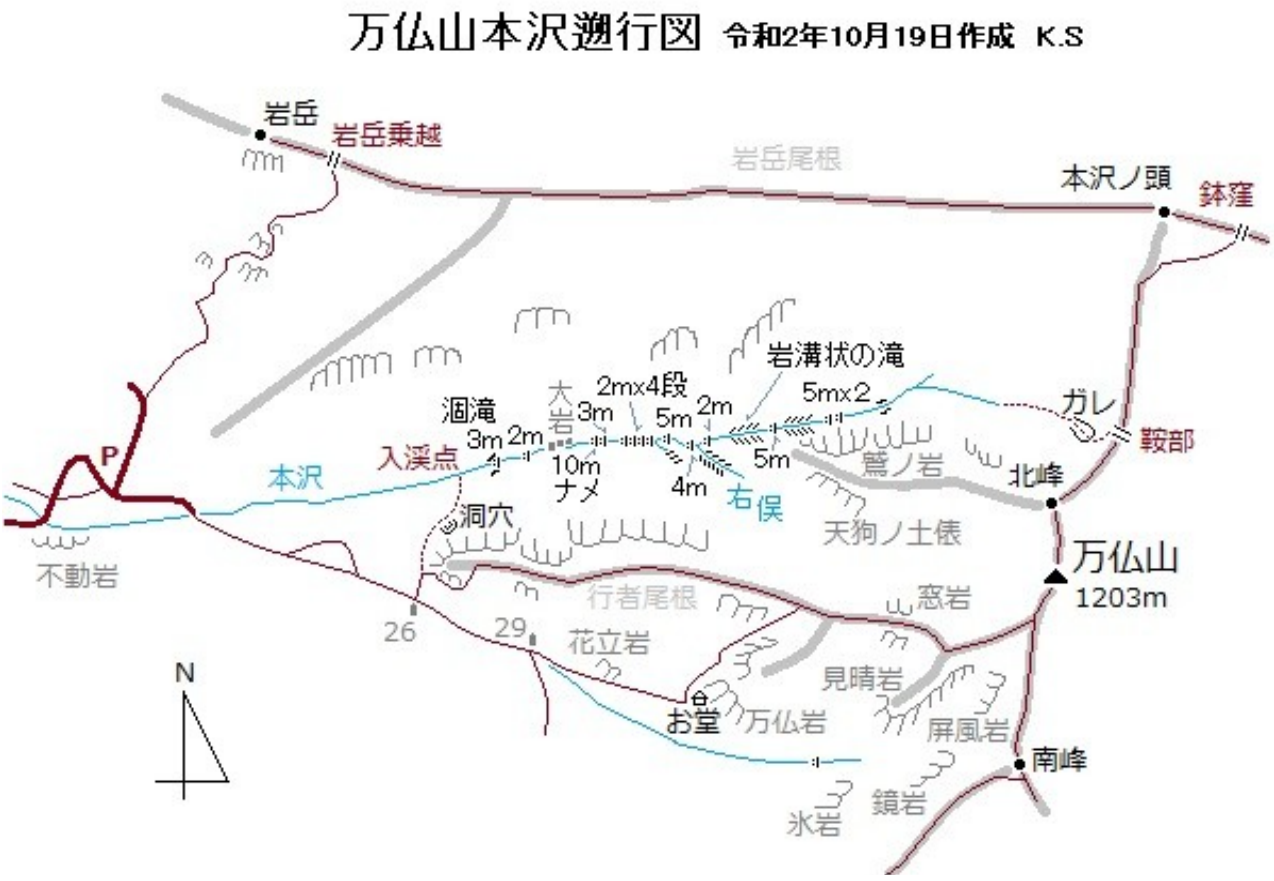
信州飯山万仏山　本沢沢登りコース

令和 2 年 11 月 6 日　K.S

この秋、紅葉の始まった 10 月中旬、久しぶりに万仏山本沢を遡行したので、万仏山頂に至るヴァリエーションコースとして簡単に紹介したい。

この沢は大きな滝はなく、殆んどがナメ滝で、ロープを出すほどの危険個所は無い。沢登りコースとしては、全くの初心者向けではあるが、痩せ尾根を辿るコースとは違った趣があるので、また別の角度からこの山を楽しめると思う。

アプローチは、林道終点から即沢に入ることもできるが、26 番観音から行者尾根コースに入り、行者尾根の取り付き下を本沢側に回り込んでいくと沢に入れる。最初、沢はゴーロ状で、雨のシーズン以外は涸れていることが多い。

大岩を過ぎて、ナメ状の小滝を幾つか越えていくと、沢は岩溝状になる。鷲ノ岩を過ぎ、最後のガレを登ると、藪漕ぎは殆んどなく、北峰と本沢ノ頭との鞍部に出られる。下山は、山頂からお堂（万仏岩）経由で林道に戻るのが一番早い。

シーズンとしては、毎年 5 月末ごろまで雪渓が残るので、雪渓を登りたければ、5 月初旬ごろまで、滝を越えていくのが良ければ、雪渓崩落の危険のない 6 月以降が良い。